

教育課程における新聞活用 — 保育学科の福祉教育での学生の意識調査の一考察 —

Newspaper Utilization in the Curriculum

— One Consideration of the Students' Attitude Surveys in the Childcare Welfare Education Course —

(2014年3月31日受理)

松井 圭三 今井 慶宗*
Keizo Matsui Yoshimune Imai

Key words : 新聞, 福祉教育, N I E

新聞を読まない、ほとんど読まない短期大学学生が少なくない。新聞がまだ学生の身近なものになっていない。新聞を使った授業を实践し、宿題・レポートなどを課しているが、学生は受け身に学習に終わっている。新聞が難しい・新聞に興味がない学生が多いが、新聞の紙面構成にも課題がある。新聞社に対して紙面構成の改善を求めていくことも必要である。学生の興味のある記事を選択させ、学生自ら学ばせる方法を模索していかなければならない。しかし、資格取得には法令で学習内容が定められていて、教科書の範囲での記事を学生に選択させなければならないので、今まで以上に新聞を読み、記事を選択させる必要がある。アンケート調査の結果をもとに、より良い新聞実践授業の展開が必要である。

1. はじめに

中国短期大学は平成23年度より、岡山県N I E推進協議会から新聞の実践指定校としての指定を受け、授業の中で新聞を教材にしている。保育学科では主に保育士・幼稚園教諭の養成を行っている。また、専攻科介護福祉専攻があり、介護福祉士養成も行っている。保育学科の科目「社会福祉」は保育士資格取得のため、また専攻科介護福祉専攻の科目「社会の理解」は介護福祉士資格取得のための必修科目である。総合生活学科では介護員養成のための科目「ヒューマンケア I A」があり介護保険制度を扱っている。平成24年度は、これら3科目で新聞を使った授業を展開した。

まず学生に前期の授業の中で、記事の種類を問わず最低3回新聞を読ませ、読後の感想・意見、その記事を選んだ理由、新聞名、発行年月日を記入のうえレポートとして提出させた。字数の制限は設けていない。

授業では、あらかじめ新聞記事を準備し授業中に解説した。また、新聞を全員に配布し、各自で新聞の中から

社会福祉関係の記事をスクラップさせ、演習としてその記事を用いてワークシートに社会福祉の制度や施設・機関などを抜粋させ、その意味や役割を調べさせた。その後、記事についての感想・意見の記入及びグループ討議をさせた。授業回数が各15回あるうち、新聞を3回程度活用した。

そのほかに宿題として、自由に学生に社会福祉関係の新聞記事を読ませ、記事の概要・感想やその記事を選んだ理由を1000字程度にレポートにまとめさせる課題を2回出した。なお、新聞は松井研究室前に置いていて、空き時間に学生が新聞を読むことができるようにしている。

これらを保育学科1年学生・専攻科介護福祉専攻学生・総合生活学科2年学生を対象に、それぞれの授業科目で実施したが、本研究は3学科の学生が前期終了後、新聞についてどのような意識をもっているか、新聞に対して普段考えていること、また新聞を使つての授業に対する意見をアンケート調査し、まとめたものである。

*関西女子短期大学

2. アンケートの概要

現在新聞を読んでいるかどうか、読んでいるのであればどのくらいの時間読んでいるのかを質問した。新聞記事を読まないならば、なぜ読まないのかその理由も問うた。また、読んでいる新聞記事の種類、新聞に対する印象、新聞を利用した授業に対する意見・要望、どのような新聞であれば読むのかを質問した。

なお、アンケート内容は末尾【資料 アンケートの形式】を参照。

3. アンケート調査の結果

① 中国短期大学専攻科介護福祉専攻学生の新聞に対するアンケート調査

平成24年7月実施 調査対象学生21人

Q 1 あなたは新聞を読みますか？		人数	割合
I	毎日読む	0人	(0.0%)
II	時々読む	5人	(23.8%)
III	ほとんど読まない	11人	(52.4%)
IV	全く読まない	5人	(23.8%)
		計21人	

Q 2 I「読む」・II「時々読む」と答えた学生（5人）がどのような記事を読んでいるか？（複数回答）		人数	割合
I	新聞全体	5	回答
II	政治・経済欄	0	回答
III	家庭欄	1	回答
IV	芸能・スポーツ欄	4	回答
V	三面記事	4	回答
VI	地元のニュース欄	0	回答
VII	その他	0	回答

Q 3 学生の新聞を読むときの所要時間		人数	割合
I	1時間以上	0人	0.0%
II	30分以上1時間未満	0人	0.0%
III	20分以上30分未満	1人	4.8%
IV	10分以上20分未満	4人	19.0%
V	10分未満	16人	76.2%
		計	21人

Q 4 III「ほとんど読まない」・IV「まったく読まない」と答えた学生（16人）の理由（複数回答）

I	新聞は難しい	5	回答
II	読む時間がない	2	回答
III	新聞に興味がない	5	回答
IV	その他（自由記述）	9	回答
	(1) 新聞を取っていない	7	回答
	(2) テレビのニュースで済ませる	2	回答

Q 5 新聞に対する印象は？（自由記述）（原文を記載）

- (1) 写真が少なく、文字が多い（12回答）
- (2) テレビ・スポーツ欄はおもしろい（3回答）
- (3) 情報があり、知識がたくさんある（3回答）
- (4) 新聞がきらい
- (5) インターネットがよい
- (6) テレビのニュースがよい
- (7) お金がかかる
- (8) 読めそうにない文字にふりがなを
- (9) 若者にわかりやすい新聞を

Q 6 これからも新聞を使った授業を実施するが、何か要望・意見があるか？（原文を記載）

- (1) わかりやすい記事を使用してほしい（3回答）
- (2) 記事は身近な内容を使用してほしい
- (3) 1つの記事について詳しく学びたい
- (4) 楽しい授業にしてほしい（2回答）

Q 7 どのような新聞であれば読もうと思うか？（自由記述）（原文を記載）

- (1) わかりやすい記事（7回答）
- (2) 写真や図があって、見出しが気になる記事（4回答）
- (3) 自分が興味のある記事（3回答）
- (4) 社会に対する意見などをしっかり書いている記事
- (5) 地元のことをたくさん書いている記事
- (6) 事件的なニュース
- (7) 若い人に読みやすい記事
- (8) 新聞記事の区切りがわかりやすい記事
- (9) 保育や子どもに関する記事
- (10) 面白い記事であれば目をひかれる
- (11) 詩とか俳句、占いがあれば見たい

② 中国短期大学総合生活学科2年生学生の新聞に対するアンケート調査
平成24年7月実施 調査対象学生46人

Q1 あなたは新聞を読みますか		人数	割合
I	毎日読む	0人	0.0%
II	時々読む	15人	32.6%
III	ほとんど読まない	17人	37.0%
IV	全く読まない	14人	30.4%
		計46人	
Q2 I「読む」・II「時々読む」と答えた学生(15人)がどのような記事を読んでいるか?(複数回答)			
I	新聞全体	6回答	
II	政治・経済欄	0回答	
III	家庭欄	3回答	
IV	芸能・スポーツ欄	5回答	
V	三面記事	3回答	
VI	地元のニュース欄	3回答	
VII	その他(自由記述) (テレビ欄等)	2回答	
Q3 学生の新聞を読むときの所要時間			
		人数	割合
I	1時間以上	0人	0.0%
II	30分以上1時間未満	1人	2.2%
III	20分以上30分未満	2人	4.3%
IV	10分以上20分未満	4人	8.7%
V	10分未満	39人	84.8%
		計 46人	
Q4 III「ほとんど読まない」・IV「まったく読まない」学生(31人)の理由(複数回答)			
I	新聞は難しい	6回答	
II	読む時間がない	10回答	
III	新聞に興味がない	11回答	
IV	その他(自由記述)	12回答	
		(1) 新聞を取っていない	
		(2) テレビのニュースで済ませる 等	
Q5 新聞に対する印象は?(自由記述)(原文を記載)			
(1) 字が多くて難しい(19回答)			
(2) 最近のニュースが読める(5回答)			

- (3) ニュースなら朝のテレビで見ているし、最近の番組表まで見ることができるから新聞にふれる機会が少ない(3回答)
- (4) リアルタイムでない
- (5) テレビより、発信は遅いが正確性、信憑性が高い
- (6) 興味のある内容があまりない
- (7) 大まかに読むと内容を把握でき、読むことができた
- (8) 広告と記事の区別がつかない
- (9) 一面以外は読みにくい
- (10) 興味のある記事は読みやすいが、経済とかは難しく理解できない
- (11) 写真はカラーだと見やすいし、最近の記事は字と写真が見やすく小さすぎないからいい
- (12) 政治や地域のことが多く載っている
- (13) 専門用語が多く、記事を理解するのに時間がかかる

- Q6 これからも新聞を使った授業を実施するが、何か要望・意見があるか?(原文を記載)
- (1) 今までと同じでよいと思う
- (2) 社会福祉についてはどこまでですか
- (3) 新聞を取っていない人が多いので授業は好まない
- (4) 新聞を使ったレポートで1,000字を書くのは大変なので、半分の500字程度がよい
- (5) 芸能記事を使用してほしい
- (6) 新聞を読んだりすると、読む力もつくし、今の世の中を知れるのでいい機会だと思う
- (7) 私たちが興味を持ちやすい親しみのある記事を使用してほしい
- (8) 新聞の大きさがでかい
- (9) 新聞のテーマが見つけにくい

- Q7 どのような新聞であれば読もうと思うか?(自由記述)(原文を記載)
- (1) カラーで図・写真があればよい(19回答)
- (2) わかりやすい記事(4回答)
- (3) 今まででよいので進んで読みたいと思う
- (4) 身近で考えやすい記事(2回答)
- (5) 若者向けの記事
- (6) 芸能ニュースの記事
- (7) 短時間読んでも要点だけはわかるような新聞

- (8) アニメや子どもが読めるコーナーがあればよい
 (9) 冊子状の新聞
 (10) 軍事に関する記事が多ければ興味を持ち、今以上に読む
 (11) 地域・地元のニュース欄が増えたら読む
 (12) 興味が湧くような工夫が施された記事
 (13) ちゃんとした記事を書いてほしい
 (14) メディアにあまり左右されたくない
 (15) いろいろ解説がついていて、詳しく書かれている記事
 (16) 全面が芸能・スポーツ・テレビ欄の新聞なら読む

③ 中国短期大学保育学科1年生学生の新聞に対するアンケート調査

平成24年7月実施 調査対象学生128人

Q1 あなたは新聞を読みますか

	人数	割合
I 毎日読む	3人	2.3%
II 時々読む	39人	30.5%
III ほとんど読まない	53人	41.4%
IV 全く読まない	33人	25.8%
計128人		

Q2 I「読む」・II「時々読む」と答えた学生(42人)がどのような記事を読んでいるか?(複数回答)

I 新聞全体	15回答
II 政治・経済欄	2回答
III 家庭欄	6回答
IV 芸能・スポーツ欄	15回答
V 三面記事	3回答
VI 地元のニュース欄	11回答
VII その他(自由記述)	3回答

Q3 学生の新聞を読むときの所要時間

	人数	割合
I 1時間以上	3人	2.3%
II 30分以上1時間未満	3人	2.3%
III 20分以上30分未満	14人	11.0%
IV 10分以上20分未満	14人	11.0%
V 10分未満	94人	73.4%
計 128人		

Q4 III「ほとんど読まない」・IV「まったく読まない」学生(86人)の理由(複数回答)

I 新聞は難しい	20回答
II 読む時間がない	27回答
III 新聞に興味がない	24回答
IV その他(自由記述)	21回答
(1) 新聞を取っていない	10回答
(2) テレビのニュースで済ませる	10回答
(3) 新聞が嫌い	1回答

Q5 新聞に対する印象は?(自由記述)(原文を記載)

- (1) 堅苦しく難しい(50回答)
 (2) 文字が多い(11回答)
 (3) 新聞はためになることばかり書いていると思った(7回答)
 (4) 大きなニュースはテレビやラジオで確認できるため新聞は必要がない(5回答)
 (5) 今の社会に詳しく述べていると思う(6回答)
 (6) 隅々まで読んだら意外と面白い
 (7) 文章の区切りがわからない(3回答)
 (8) あまり関心を持っていなかったが、ふれてみると面白い(2回答)
 (9) 家に新聞がない(2回答)
 (10) たくさんの記事から伝えたいことが書かれている
 (11) いろんな記事があつて勉強になる(5回答)
 (12) あれだけの量の記事、毎日すごいと思う
 (13) 情報収集の手段の一つ
 (14) かさばる
 (15) 面白い記事もあるけどほとんど字だけで読む気にならない
 (16) 読む必要がわからない
 (17) 文字が書いてあつて、後で何日も読み返せる
 (18) 日本の政治やスポーツ・社会福祉などの進化がわかる(3回答)
 (19) 字が小さいくせに何が言いたいかわからない
 (20) 何か目的、例えば授業のときに読むのはいいが、自分から新聞を読みたいとは思わない
 (21) もっと楽しい記事を増やしてほしい
 (22) 興味をひかれる見出しは読むが、基本的には読まない

- (23) 写真の記事やイラストがあった新聞は面白いと思う
- (24) 購読料が高い
- (25) 見出しが大きくてわかりやすい
- (26) 読んでいる間に面白いと思う (2回答)
- (27) 前日のニュースで大きく出ていたことについて、気になるので読んでいる
- (28) 新聞はどちらかという嫌いではない
- (29) 読むのに疲れる
- (30) 新聞は自分で自由に読めるからいいと思う (2回答)
- (31) 文章力がつくのでいいと思う
- (32) いろんな記事が載っているし、見出し・小見出しの工夫がすごくされていると思う
- (33) 入試対策のためのこと
- (34) 朝は読む気になるが、帰宅後は読もうとは思わない

Q 6 これからも新聞を使った授業を実施するが、何か要望・意見があるか？ (原文を記載)

- (1) 新聞の良さを伝えたり、新聞って面白いなあ、読みたいなあと思える授業がよい
- (2) 新聞にあまり興味がない私たちにとって、よいきっかけだと思う
- (3) レポートだったら、今のやり方がいいと思いました
- (4) 今手元に新聞がないのですが、それでも大丈夫ですか
- (5) 1つの新聞だけでなく、いろいろな種類の新聞を見比べてみたいと思った
- (6) これからも新聞を使った授業をやっていききたい (2回答)
- (7) 読みやすい記事にしてほしい
- (8) 寮なので新聞を持ってくることが難しい
- (9) 山陽新聞が読みやすいと感じるので、山陽新聞を中心にしてほしい
- (10) 社会福祉のレポートですが、どんな記事でもいいとかにしてほしい (2回答)
- (11) 保育学科なので、子どもに関する記事などをまとめていきたい
- (12) 新聞を読む機会が増えていると思う

- (13) 宿題として使う記事が何でもいいというのはいいと思った
- (14) 感動できる記事が書きやすい
- (15) スポーツ記事は好き
- (16) 新聞は難しい
- (17) 新聞を制限するのではなく、自分のとっている新聞を読ませてほしい (新聞実践校として新聞が毎日配布されている。この新聞を読むように指導しているが、自宅の新聞も許可をしている。)
- (18) 自分の興味のある記事だったらよい (2回答)
- (19) 結構面白かった、お蔭で新聞を読む機会が増えた (2回答)
- (20) わかりやすい課題にしてほしい
- (21) 別にいらなと思う、それならもっと面白い授業がいい

Q 7 どのような新聞であれば読もうと思うか？ (自由記述) (原文を記載)

- (1) カラーで写真・イラストがたくさんある新聞 (24回答)
- (2) 文字が大きく、読んでわかりやすく、理解しやすい記事 (20回答)
- (3) スポーツ・芸能関係記事 (11回答)
- (4) 楽しい、おもしろい記事を増やしてほしい (7回答)
- (5) 子ども、保育関係記事 (14回答)
- (6) 字と字の間に隙間があって見やすい記事 (3回答)
- (7) スポーツの記事 (3回答)
- (8) 地域のことが載っている新聞 (4回答)
- (9) 若者向けの内容 (3回答)
- (10) 何が言いたいのか、はっきりわかる新聞 (2回答)
- (11) 大きな見出しのある記事 (2回答)
- (12) 大きなニュースになったもの
- (13) まんががいっぱいあったほうがいい
- (14) 家庭欄は読もうと思う
- (15) インパクトのある内容
- (16) 子ども新聞
- (17) 介護について読みたい
- (18) 世界・日本のことについて読みたい
- (19) 言葉・用語の意味を解説しているものであれば読みやすい

- (20) 記事の境がわかりやすい
 (21) 心温まる記事 (2回答)
 (22) 広告のページがめんどくさい
 (23) 政治についてもう少しわかりやすい記事
 (24) 難しい言葉が使われていなかったら読もうと思う
 (25) これから読もうと思う (2回答)
 (26) 殺人事件と福祉問題の記事 (3回答)
 (27) もっと開きやすくしてほしい
 (28) 保育関係の記事が一面にある新聞
 (29) 自殺やひどい事件の詳細を知りたいとき
 (30) アニメ紹介, アニメ用の番組表
 (31) 開いたときに目立ったところがよい
 (32) 文化的な記事
 (33) 新聞のサイズをもう少し小さくすると内容が面白い
 (34) 自分の故郷が新聞に出たとき

4. アンケート調査の3学科の比較

Q1 あなたは新聞を読みますか

	専攻科	総合生活学科	保育学科
I 毎日読む	0.0%	0.0%	2.3%
II 時々読む	23.8%	32.6%	30.5%
III ほとんど読まない	52.4%	37.0%	41.4%
IV 全く読まない	23.8%	30.4%	25.8%

Q2 「読む」・「時々読む」と答えた学生でどのような記事を読んでいるか (複数回答)

	専攻科 (21人中5人 (23.8%))	総合生活学科 (46人中15人 (32.6%))	保育学科 (128人中42人 (32.8%))
I 新聞全体	5回答	6回答	15回答
II 政治・経済欄	0回答	0回答	2回答
III 家庭欄	1回答	3回答	6回答
IV 芸能・スポーツ欄	4回答	5回答	15回答
V 三面記事	4回答	3回答	3回答
VI 地元のニュース欄	0回答	3回答	11回答
VII その他(自由記述)	0回答	2回答	3回答

Q3 学生の新聞を読むときの所要時間

	専攻科	総合生活学科	保育学科
I 1時間以上	0.0%	0.0%	2.3%
II 30分以上1時間未満	0.0%	2.2%	2.3%
III 20分以上30分未満	4.8%	4.3%	11.0%
IV 10分以上20分未満	19.0%	8.7%	11.0%
V 10分未満	76.2%	84.8%	73.4%

Q4 「ほとんど読まない」・「まったく読まない」と答えた学生の理由 (複数回答)

	専攻科 (21人中16人 (76.2%))	総合生活学科 (46人中31人 (67.4%))	保育学科 (128人中86人 (67.2%))
I 新聞は難しい	5回答	6回答	20回答
II 読む時間がない	2回答	10回答	27回答
III 新聞に興味がない	5回答	11回答	24回答
IV その他(自由記述)	9回答	12回答	21回答

Q5 新聞に対する印象は

専攻科介護福祉専攻はインターネット・テレビなど速報性を重視している回答がある。総合生活学科2年もテレビなどによるリアルタイムの情報入手が必要であるという考えである。他方、同学科学生の回答の特徴として、新聞内容の豊富さを指摘し、かつ正確性・信憑性の観点から前向きな印象を持っていることを挙げるができる。

保育学科は、新聞に対して肯定的な印象を持っている回答が多くみられる。知りたいことが書かれている、社会の動きがわかる、ニュースを多く知ることができるなど内容面から評価すると同時に、自分自身の読解力・表現力を養うことにも新聞が有効であるととらえている。また保存が可能であるという記録性を挙げている者もいる。記事の内容の豊富さ、紙面構成の工夫に気付いている学生もいた。

一方、各学科に共通して、新聞に対して注文も多く出ている。文字が多い、区切りが難しい、必要な記事の位置がわかりづらいなどであり、紙面構成にさらに工夫があれば読みやすくなると考えている。

Q6 新聞を使った授業を実施していく上での要望・意見
総合生活学科は、授業におけるテーマが難しいのではないかと懸念があるほか、レポートの字数などを調整してほしいなど授業における課題提出方法に関心を有している。

保育学科は、自分の好きな新聞社の新聞、興味のある記事を使いたいなどの要望がある。現在新聞を購読していないと考えられる回答も少なくない。この授業が新聞を読む機会になると考えている回答もある。

各学科に共通して、授業については、新聞を読みたくなるような授業展開を希望する、わかりやすい内容や身近な内容を取り上げてほしい、また新聞記事に慣れるという意味を含め当初は興味のあるスポーツ記事や芸能記事も利用してほしい、という意見がある。

Q7 どのような新聞であれば読もうと思うか

専攻科は、現在の新聞に対してわかりやすいという印象を持っていて、写真を増やしたり、区切りを分かりやすくするなど、より分かりやすい紙面構成を求めている。

総合生活学科は、短時間であっても読むことができるように要点をまとめているもの、学生が興味をひくものであれば読みたいと考えている。

保育学科は、学科自体の特質から、保育所・幼稚園に関すること、子どもや介護虐待など福祉問題を取り上げることが希望する学生が多い。新聞のサイズや見出しのあり方、写真やイラストの量など紙面に工夫を求める意見も多く出されている。

各学科に共通する傾向として、アニメーション・芸能・スポーツ・ファッションに興味をもつ者が少なくないことが挙げられる。また、地元や故郷の記事、あるいは心温まる記事を増やしてほしいという要望もある。

5. 考 察

各学科に共通して、新聞を「読まない」「ほとんど読まない」学生が現在も6割を超えている。新聞はまだ学生の身近なものになっていない。新聞を使った授業を実践し、宿題・レポートなどを課しているが、現在のところが学生は受け身に学習に終わっている。

また新聞を「読む」「時々読む」と答えた学生も政治・

経済欄の記事をほとんど読んでいない。社会福祉は、年金・医療・介護・子育て・生活保護など主に政治・経済欄に記事が掲載されている。今後どのようにすれば学生が政治・経済欄の記事を読むか、さらに検討しなければならない。

また新聞を読む時間も10分未満が多く、まだまだ学生は新聞を読んでいない。特に、新聞が難しいと思い興味が無い学生が多かったが、新聞の紙面構成にも課題があることが改めて明らかになった。新聞社に対しても紙面構成の改善を求めていくことも必要である。新聞の実践授業として、社会福祉の記事を教員が準備し、教科書に関連した内容を解説し、授業を展開したが、この方法については一部の学生から不満があった。学生に興味のある記事を選択させ、学生自ら学ばせる方法を模索していかなければならない。但し、各学科とも共通していることは、資格取得のため法令で学習内容が定められていて、教科書の範囲での記事を学生に選択させなければならないことである。今まで以上に新聞を読み、記事を選択させる必要がある。

このアンケート調査の結果を重視し、より良い新聞実践授業をこれからも展開していくことが重要であると考ええる。

【資料 アンケートの形式】

1. あなたは新聞を読みますか。○をつけて下さい。
 - I 毎日読む
 - II 時々読む
 - III ほとんど読まない
 - IV 全く読まない
2. 「I 毎日読む」「II 時々読む」に○をつけた人に聞きます。新聞のどのような記事を読みますか。○をつけて下さい。(複数回答)
 - I 新聞全体
 - II 政治・経済欄
 - III 家庭欄
 - IV 芸能・スポーツ欄
 - V 三面記事
 - VI 地元のニュース欄
 - VII その他 ()

3. 新聞を読む時間についてお聞きします。○をつけて下さい。
- I 1時間以上
 - II 30分以上1時間未満
 - III 20分以上30分未満
 - IV 10分以上20分未満
 - V 10分未満
4. 「III ほとんど読まない」・「IV 全く読まない」に○をつけた人に聞きます。読まない理由に○をつけて下さい。(複数回答可)
- I 新聞は難しい
 - II 読む時間がない
 - III 新聞に興味がない
 - IV その他(自由記述)
5. 自由記述…新聞に対する印象を記述して下さい。
6. 新聞を使った授業を実施したことについて, 要望・意見はありますか。自由に記述して下さい。
7. どのような新聞であれば, あなたは読もうと思いますか。自由に記述して下さい。